

丹誠塾 乗り出す板プロジェクト

丹誠塾は、西東京市にある塾で、来年開塾 40 周年を迎える私塾です。「遊ぶように勉強を楽しむ」ことを大切にして、学校の授業とはちょっと違う「体験型」の授業を実施しています。生徒数は 55 名ほどで、小学生から高校生までの生徒が通ってきています。私はここで、小学生向けの科学実験・自然観察・工作講座「DIG (ディグ)」というクラスを受け持って 19 年になります。

今回は、小学生の DIG クラスの生徒たち 9 名に、乗り出す板プロジェクトに参加してもらいました。まず、ピサの斜塔に鉛筆をさして、斜塔が倒れないようにバランスを取る実験に挑戦してもらいましたが、これがなかなか難しく、最初はあきらめムードでした。でも、ひとりが成功すると、次々をできるようになりました。

次に板を重ねて、どれだけ前に出せるかを実験しました。一番下の板の端から、伸ばした板の先端まで、斜めに測って何 cm になるかを競いました。ほとんどの生徒が、23 cm をクリアしました。

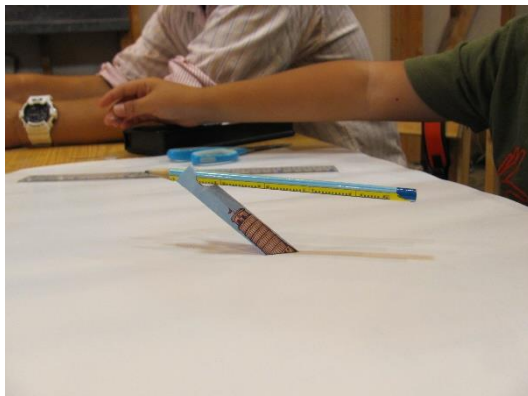
絵を描く段になって、多くの生徒が自由な絵を描くことができず、ちょっと困っているようでした。結局、マンガとか本とか、何かを手本にして写していました。以前の生徒は、自由描画は苦なくこなしていましたが、最近は、「きれいに」「上手に」という意識が働くのか、お手本を見たがるようになりました。

そんな中で作った作品です。でも、絵を描いている時は真剣で、いつもはおしゃべりをする生徒たちが大変静かに集中していたのにはびっくりでした。

成見さんのご希望通りの出来ではないかも知れませんが、集まった作品をお送りいたします。うちの塾の生徒たちは、この乗り出す板を楽しんでいましたよ。面白いプロジェクトに参加させて下さり、有難うございました。

以下、貼りつけて紹介します。

○ピサの斜塔をすくおう



作成中の様子



以上です。(9月16日 日江井)